



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 上場取引所 東  
 コード番号 3652 URL http://www.dmprof.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼CEO (氏名) 山本 達夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長兼CFO (氏名) 古川 聖 TEL 03 (6454) 0450  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	54	65.4	144	-	104	-	104	-
25年3月期第1四半期	158	26.2	27	-	27	-	29	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	47.43	-
25年3月期第1四半期	12.60	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、希薄化効果を有している潜在株式は存在しないため、記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	2,339	2,264	96.8	1,024.81
25年3月期	2,450	2,369	96.7	1,072.24

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,264百万円 25年3月期 2,369百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	250	38.6	150	-	80	-	80	-	36.20
通期	800	11.9	200	-	0	-	0	-	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

#### 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| 以外の会計方針の変更         | ： 無 |
| 会計上の見積りの変更         | ： 無 |
| 修正再表示              | ： 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	2,410,100株	25年3月期	2,410,100株
期末自己株式数	26年3月期1Q	200,076株	25年3月期	200,076株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	2,210,024株	25年3月期1Q	2,366,104株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国における住宅市況の復活やシェールガス関連の投資が活況を呈するなど景気回復局面が継続しているものの、欧州においては、景気後退が続いており、新興国の減速が顕在化し、資源国への影響が見え始めるなど、総じて緩慢な状況で推移しました。日本経済においては、積極的な財政・金融政策を受け、消費主導で景気が回復しており、円安基調を背景とした生産・輸出の増加から設備投資に明るい兆しが見え始めました。

当社の属する半導体業界では、スマートフォン向け半導体が好調を維持しておりますが、国内半導体メーカーの不振が続いており、依然として厳しい環境で推移しました。当社事業領域であるグラフィックス関連分野においては、自動車、民生機器、産業機器へのGPU搭載が進み、GPUを用いたユーザーインターフェイスアプリケーションの重要性が高まっております。また、ビジュアルコンピューティング分野への関心が集まっており、旺盛なGPU需要が見込まれます。

このような環境下において当社は、IPコアライセンス事業における新規受注獲得と既存顧客への技術サポートを継続してまいりました。当四半期においては、既存顧客の次世代製品向けライセンス契約を獲得いたしました。また、新規に受注した案件については、第2四半期累計期間以降に売上を計上する予定であります。さらに、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、「NEDO」という。)の助成金を活用した次世代LSIの開発を進めています。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、54百万円(前年同期比65.4%減)となりました。利益面では売上高の減少と引き続き次世代LSIの開発費が発生したことにより、営業損失144百万円(前年同期営業損失27百万円)となりましたが、NEDOからの助成金収入39百万円を計上したため、経常損失104百万円(前年同期経常損失27百万円)、四半期純損失104百万円(前年同期四半期純損失29百万円)となりました。

当社は、単一セグメントであります。事業の傾向を示すため、事業別の業績を以下に示します。

#### IPコアライセンス事業

当第1四半期累計期間においては、既存顧客の次世代製品向けライセンスおよび既契約に基づくライセンス売上を計上するとともに、既存顧客からのランニングロイヤリティ収入を計上し、売上高は54百万円となりました。

#### その他の事業

その他の事業の売上計上はありませんでした。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,692百万円となり、前事業年度末に比べ604百万円減少いたしました。主な変動要因は、預金500百万円を長期預金としたことによるものであります。また、固定資産は646百万円となり、前事業年度に比べ492百万円増加しました。これは、主に上記長期預金が増加したためとなっております。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債および固定負債は合計で74百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に未払金の支払等に伴いその他流動負債が6百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ104百万円減少し、2,264百万円となりました。これは四半期純損失により利益剰余金が104百万円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間において四半期純損失を計上しておりますが、新規のライセンス収入が年度後半に集中する傾向があり、第1四半期累計期間は低めの進捗率となる傾向にあります。平成25年5月9日公表の第2四半期累計期間および通期業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,067,388	1,483,245
受取手形及び売掛金	138,771	63,614
電子記録債権	-	28,244
たな卸資産	8,000	500
その他	83,323	117,297
流動資産合計	2,297,483	1,692,902
固定資産		
有形固定資産	93,697	87,831
無形固定資産	9,176	8,475
投資その他の資産		
長期預金	-	500,000
その他	50,413	49,897
固定資産合計	153,287	646,205
資産合計	2,450,770	2,339,108
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	1,557	1,170
その他	58,910	52,590
流動負債合計	60,467	53,760
固定負債		
資産除去債務	15,236	15,293
繰延税金負債	5,383	5,195
固定負債合計	20,619	20,488
負債合計	81,087	74,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	822,595	822,595
資本剰余金	841,806	841,806
利益剰余金	887,121	782,297
自己株式	181,839	181,839
株主資本合計	2,369,683	2,264,859
純資産合計	2,369,683	2,264,859
負債純資産合計	2,450,770	2,339,108

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	158,550	54,812
売上原価	4,343	21,470
売上総利益	154,206	33,342
販売費及び一般管理費	181,814	177,624
営業損失( )	27,607	144,281
営業外収益		
受取利息	929	716
助成金収入	-	39,000
その他	3	228
営業外収益合計	932	39,945
営業外費用		
自己株式取得費用	960	-
為替差損	284	437
営業外費用合計	1,245	437
経常損失( )	27,920	104,774
税引前四半期純損失( )	27,920	104,774
法人税、住民税及び事業税	237	237
法人税等調整額	1,663	187
法人税等合計	1,900	49
四半期純損失( )	29,821	104,824

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。